

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会（認定NPO）

2008年度事業計画書

（2008.4.1～2009.3.31）

JHP・学校をつくる会 15周年記念祝賀会



15周年記念祝賀会には、カンボジアからマーチングバンドと幸せの子どもの家（CCH）の子どもが来日。子どもたちの演奏と成長した姿は、来場者の感動を誘いました。（2007.10.31 東京プリンスホテルにて）

目次

2008（平成20）年度事業計画書	1～9
2008（平成20）年度収支予算書	10



特定非営利活動法人
JHP・学校をつくる会
JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWER

1 . 団体理念

本会は、戦争や自然災害で教育の機会を奪われた世界の子ども達に、人種、国籍、宗教、その他の信条の違いにかかわらず広く教育等の援助を行い、また、紛争や自然災害で被害を蒙った被災地・被災民への救援活動と、これらの活動を通じて次代を担う若者達への地球市民教育を実践することを目的とする。

2 . JHPが関わる特定非営利活動の種類

- (1) 国際協力の活動
- (2) 子どもの健全育成を図る活動
- (3) 災害救援活動
- (4) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (5) 社会教育の推進を図る活動

3 . 事業の種類

- (1) 教育施設の未整備な地域における学校建設の協力
- (2) 援助を必要とする人達への教育支援と援助物資の提供
- (3) 紛争や自然災害で被害を蒙った被災地・被災者への救援活動や
難民・避難民救済、復興活動
- (4) 地球市民教育を実践するためのボランティアの養成と派遣
- (5) 本会の活動を推進するための啓蒙活動(広報啓発活動)

4 . 2008 年度（平成 20 年度）の事業方針

当会は 1993 年 9 月に設立し、2007 年 9 月より 15 年目に入っています。

今年度は、以下の 11 方針に基づき各種事業を展開すると共に、会の更なる発展に向けた『15 周年記念事業（2 年計画の 2 年目）』を実施します。

- (1) 「社会の発展及び自立は基礎教育の充実から」という考えに基づき、極度の貧困に苦しみ、教育施設の未整備なカンボジア等の開発途上国における学校建設を積極的に進め、『国連ミレニアム開発目標』にある、普遍的初等教育の達成に寄与します。
- (2) 教育支援活動として、音楽・美術・衛生教育等に必要な人材育成に力を入れます。特に、普及の中心となる学校づくり、指導者育成に努めます。
- (3) 子どもの健全育成を図る教育支援活動に必要な楽器、教材等の支援物資を積極的に集めます。
- (4) 教育支援活動の一環として、生活と就学が困難な孤児や日本で研修や留学を希望する学生などを支援するとともに、日本国内での広報啓発活動を通じて支援者の拡大に努めます。
- (5) カンボジア同様に教育支援の必要性があるネパールやラオス等の国について、教育支援の可能性を調査し必要な支援を行うため調査団を派遣します。
- (6) 当会及び協力団体の支援先にボランティアを派遣し「日本人の顔の見える援助」を行い、同時にそれを通じて次世代を担う日本の若者の「地球市民教育」を実践します。
- (7) 他団体やボランティアと情報交換を密にしながら、国内外の災害時には、平時から募集する災害時の初動資金を元に、メンバーの派遣や後方支援などの貢献をします。
- (8) 当会の財産である、共働学習経験や国際協力・多文化理解・共生などの豊富な実践的な専門知識を活かして、3 期目の『国際ボランティア・カレッジ』を継続運営し、「国際ボランティア市民」としてグローバル社会で生きることが志す人々に、国際 N G O にふさわしい学びの場を提供します。
- (9) N G O ネットワークに参加し、人権の擁護又は平和の推進を図る活動や提言を行います。
- (10) 機関紙やホームページ、報告会等を通じて活動実績を広報すると共に、ボランティア及び地域サポーターとの協同で支援者の輪を更に大きくします。
- (11) 各種募金活動、認定 N P O 法人の積極的な宣伝を行い支援者の拡大を図ります。また、事業の透明性の確保、個人情報保護や危機管理の徹底、運営能力の向上を通じ対外的な信頼を深め、より安定した運営基盤を築きます。

5 . 2008 年度（平成 20 年度）の活動と目標

事業名	事業内容	実施時期	実施地域	活動内容と目標
1 ・ 学校建設	1) 小・中学校建設	年度内	カンボジア各地域	調査に基づき候補校を決定し、特に遠隔地の優先度の高い学校から 25 棟の教育施設（トイレ、井戸、備品含む）を建設する。その中で、環境問題に考慮した建設を目指す。
			カンボジア以外	カンボジア以外（ネパール、ラオス等）の国を調査し、可能性があれば実施する。
	2) 教員養成学校建設	年度内	カンボジア	調査に基づき、建設の必要があれば上記 25 棟の一部として、教員養成学校の施設を建設する。具体的には、コンポンスプー県教員養成学校内にある学生寮 1 棟を建設する。
	3) 専門家派遣	年 1 回	カンボジア	丈夫で長期間使用可能な施設建設の為に、当会監事で一級建築士の青野達司氏を派遣する。
	4) 建設校の視察（フォローアップ）	年度内	カンボジア各地域	2004 年度より 5 年計画で開始した既建設校（100 校以上）のフォローアップを行う。修理が必要な場合は補修を行う。既存校舎の状況（設備、学校運営、清掃）について、支援者に報告する。
	5) 継続支援	随時	カンボジア	文具や図書等の継続支援を希望する支援者の対応を行う。
2 ・ 教育支援	1) 音楽教育	随時	カンボジア各地域	<u>音楽授業実施状況の調査</u> トレーニング既卒業者の学校を中心に音楽授業の実施状況を調査する。 プノンペン市内の音楽実施校が減っているため調査を行い、授業の再開や合唱活動への参加を促す。
		8～9月 (10日間) 9～1月 (6日間)	プノンペン市	<u>現職教員対象音楽トレーニング（初級・上級）</u> カンボジアの子どもたちの情操教育普及のために、集中的に音楽教師の育成を行う。講師は JHP 契約者。 ・期間：初級、上級共にワークショップ 10 日間、フォローアップ 6 日間の計 16 日間。 ・参加者：上級は、コンポンチュナン県 14 校 17 名、タケオ県 7 校 11 名を中心に計 33 名。19 校より 22 名。初級は、プレイベン県 18 校 29 名を中心に計 33 名。
		1月 (10日間)	プノンペン市	<u>教員養成学校（TTC）教員対象音楽ワークショップ</u> TTC 全校で音楽授業が行われ、生徒が配属先の学校で授業に必要な技術を身につけられるように、1月に 10 日間ワークショップを行う。参加者は 33 名を予定。
		通年	カンボジア各地域	<u>教材作成</u> 音楽トレーニング用テキスト 従来は 3 年間用指導書を中心に使用してきた。他の教材も含めて整理し、トレーニングで使用できるテキストを作成する。 練習曲テキストの充実（クメールの曲増加、外国の曲テキスト・カセット） 楽器使用法・メンテナンス法テキスト 指導用教材（楽器・作曲家紹介等）
		随時	カンボジア各地域	<u>楽器・教材配付</u> 初級ワークショップ終了後、参加者の学校へ新規配布する。 以前配布した学校に必要な楽器を追加配布する。 楽器メンテナンス指導の徹底・部品の現地調達の可能性を探る。

TTC：教員養成学校

2
・教育支援

		通年	プノンペン市	<p><u>音楽指導員(地域インストラクター)育成</u> 音楽トレーニング修了生の中で、音楽指導に対する熱意にあふれ、音楽的才能を持つ小中学校教員、また音楽トレーニングを終了し、現在 TTC・中学校教員育成学校(RTTC)で指導している教員を対象にする指導員を育成する。 音楽トレーニング(5、9月に各5日間、1月に3日間、計17名) 教育実習(8月に10日間、その他随時) 小中学校教員(8名)は、プレイベンで開催予定の初級ワークショップの中で、半日交替で教育実習を行う。TTC教員(9名)は、各教員の音楽授業を視察し、適宜指導を行う。 地域トレーニング開始準備 日本への研修生の推薦、派遣準備</p>
		1~3月	カンボジア 各地域	<p><u>第5回音楽コンテスト</u> 当会が音楽支援を行った2市8県のフォローアップとその成果確認の場として開催する。子どもたちの意欲向上にも繋げる。参加地域は、プノンペン市、コンボンスプー県、タケオ県、シアヌークビル市、コンボンチュナム県、コンボンチュナン県。出場校が多い県は郡単位で予選を行い、地域に根ざしたコンテストを目指す。各県予選での優秀校による決勝大会をプノンペン市で開催する。</p>
		10月~	カンボジア 各地域	<p><u>合唱普及活動</u> ・合唱トレーニング実施(10月) プノンペン、コンボンスプー、シアヌークビル、タケオ、コンボンチュナンの計5ヶ所で行う音楽トレーニングの中で、小学校教員に対して日本人専門家が指導を行う。また、中学校教員に対して、プノンペン市内で2日間の合唱トレーニングを行う。各教員が合唱の楽しさを理解し、その後生徒に指導してもらう流れをつくる。同時に、第5回音楽コンテストに向けた各教員の指導能力の強化を図る。</p>
		通年	プノンペン市	<p><u>マーチングバンドプログラム</u> 練習 ・ワットプノン中学校 期間：2008年4月~6月、2008年10月~2009年3月の間、週2回(木・金)3時間練習する。ユニフォーム新調(30着) ・クラップ 小学校 週1回(木)3時間練習する。ユニフォーム新調(10着) ・サクラクバルチュロイ小学校・・・週1回(木)3時間練習 ・日本から専門家を派遣し、短期集中指導を行い、指導者とメンバーの技術向上に努める。 パレード 年3回程度、プノンペン市内でマーチングパレードを企画する。 第1回：2008年6月1日頃(国際子どもデー) 第2回：2008年12月10日頃(国際人権デー) 第3回：2009年3月8日頃(国際女性デー) 合同演奏会実施 年2回(12月、3月を予定)合同演奏会を実施し、全マーチングバンドの演奏、アンコールユースオーケストラとの合同演奏、音楽教員合唱団の披露などを行う。 バンド指導者・生徒に対して指導ができる専門家を派遣する。(5~6月にかけて3週間、3月1週間~10日間)</p>

TTC：教員養成学校 RTTC：中学校教員育成学校

2・教育支援

2) 美術教育

		(2月～) 5月	カンボジア 各地域	<p>参加校追跡調査・画材配布</p> <p>事前のアンケートに基づき、学校の教育環境作りや授業の様子をモニタリングし、問題点等を把握する。同時に学校側や関係部署にも働きかけ、問題の改善を図る。</p> <p>TTCでの美術教育をさらに調査し、より学校のニーズに合わせたトレーニングが行えるようにする。</p> <p>参加校の授業実施状況、画材使用状況を見ながら画材を配布する。</p>
		通年	カンボジア 各地域	<p>教材作成</p> <p>美術テキストを1000部増刷し、TTC生徒対象ワークショップ(100名×6校=600名)、現職教員対象ワークショップ(30名)、クラスターミーティング(50名×2校=100名)で配布する。</p>
		4～7月	2市4県	<p>TTC生徒対象絵画トレーニング</p> <p>美術授業実施状況調査：従来のTTC生徒対象ワークショップ(2日間)を行うニーズの有無を調査し、TTCの美術教員の担当する授業で指導可能な内容はTTC教員に任せ、JHPのトレーニングが必要であれば、各TTCでのワークショップ内容を検討する。</p> <p>TTC生徒対象美術ワークショップ(2市4県のTTC):2日間×2回行う。</p>
		8月	プノンペン市	<p>教員対象絵画トレーニング</p> <p>美術教員育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級ワークショップ(8月中旬) プノンペン市の教員養成学校にて実施。約20名参加予定。 ・中級ワークショップ(8月下旬) プノンペン市の教員養成学校にて実施。約20名参加予定。 <p>従来のTTC生徒対象ワークショップ(2日間)を行うニーズの有無を調査し、TTCの美術教員の担当する授業で指導可能な内容はTTC教員に任せ、JHPのトレーニングが必要であれば、各TTCでのワークショップ内容を検討する。</p> <p>クラスター内への普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスターミーティング実施後調査 昨年度タケオ県で開催したクラスター内の絵画授業の状況を調査する。 ・クラスターミーティング内絵画ワークショップ実施 コンボンスプー県ウドン郡2クラスター(月1回各5日間)参加者は、各クラスター約50名ずつを想定。
		11月～1月 (各1週間)	カンボジア 各地域	<p>第7回絵画展</p> <p>2市4県(プノンペン市、カンダール県、コンボンスプー県、タケオ県、シアヌークビル市、コンボンチャム県)の絵画プロジェクト参加校生徒及びTTC学生の絵画授業への意欲向上と絵画教育の普及を目指す。参加校は未定。同絵画展には、日本の小中学生の絵画作品を展示し、両国の国際交流にも繋げる。表彰式をプノンペン音楽コンテスト決勝の日に合わせて、受賞者対象のスタディツアー(プノンペン市ほか)を行う。</p>
		3月	プノンペン市	<p>絵画展優秀作品展</p> <p>第7回絵画展の受賞作品を音楽コンテスト決勝大会の会場に展示する。</p>

TTC: 教員養成学校

	3) 衛生教育	通年	カンボジア 各地域	<p>トイレ、井戸建設と平行して衛生指導（井戸の水質検査含む）学校美化、ごみ処理など清掃指導を行う。</p> <p>音楽、絵画ワークショップの中に衛生に関する講義（約1時間）を取り入れ、各学校で実践してもらうように指導する。講師はJHPのローカルスタッフ。</p> <p>当会作成の衛生教本を配布する。年間配布数は約1500冊</p>
	4) 援助物資募集 及び海外輸送	年数回	日本～ カンボジア	<p>各種事業に必要な教材・備品（主に楽器）の募集を行い、年数回カンボジアに輸送し配布する。</p> <p>支援物資の管理能力、支援者へのフォローを強化する。</p>
	5) 研修生・ 留学生招聘	年数回	カンボジア～ 日本	<p>熊本県国際課の研修制度に対して、キン・ラー氏（コンブンスプー県アンロントン小学校教員・30歳男性）を推薦する。採用されれば、熊本県芦北町にて研修が可能となる。同時に、これまで招聘した研修生の情報を収集し、熊本県国際課、芦北町に報告する。</p> <p>カンボジアの子どもに職業訓練や研修機会を提供するために受け入れ団体を探す。具体的には、CCHの子ども2名を3ヶ月間、関西ヘアアカデミーの研修に参加させる。</p> <p>カンボジアの学生に留学の機会を提供するために、当会が情報収集、橋渡しを行う。</p>
	6) 児童養護施設 施設支援	通年	プノンペン市	<p>2002年度に当会が建設し、6年目を迎える児童養護施設を運営するローカルNGOのCCH（日本語名：幸せの子どもの家）に対して、教育基金、教材、生活用品等を継続的に支援する。安定的に支援するための基金を継続支援する。また、支援を目的のカレンダーを作成、販売する。</p>
3 ボランティア派遣	1) カンボジア 派遣	年2回 (8、3月) 通年	カンボジア	<p>カンボジアに約50名のボランティアを派遣し、遊具建設等を通じて地球的視野を持つ人材を育成する。</p> <p>企業や団体のボランティア活動を受入れ、遊具建設等の活動を通じて社会貢献活動の普及を行う。</p>
	2) 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ	通年	国内及び カンボジア	<p>3期目の「国際ボランティア・カレッジ」を継続運営し、グローバル社会で生きることを志す人々に、国際NGOにふさわしい新しい学びの場を提供する。受講生は30名、聴講生は延べ400名を目標とする。講義は9月～2月中旬に約70回（講義は週2日）行う。また、実学として受講生を対象としたカンボジア現地研修（2～3週間）を計画、実施する。</p>
	3) その他派遣	未定	未定	<p>学校建設、教育支援事業に関連して、関係団体等の要請や情報を得ながら、必要とされる国、地域にボランティアを派遣する。特に、学校建設に関連して、植林（植樹）のニーズを調査し、派遣の可能性を探る。</p>
	4) 緊急派遣	不定期	国内外	<p>国内外の災害への支援活動及び募金を実施する。</p> <p>国内外の災害時に即時に対応できるように、初動資金を確保するための制度をつくり実行する。</p> <p>緊急度の高い教育支援対象国について調査団を派遣する。</p>
	5) 派遣者の情報整理	通時	国内	<p>過去に派遣した約1000人の派遣者の動向を調べ、事業の成果を検証し、情報の整理を行う。</p>

CCH : Center for Children's Happiness (幸せの子ども家)

4 啓蒙活動（広報啓発）

1) チャリティーイベント	年2~3回	東京都内と近郊	当会の活動を宣伝し、各種非営利事業の活動費を募るチャリティーイベント、コンサートを企画、実施する。具体的には、6月22日に天満敦子氏のコンサートを実施する。その他、12月2日にチャリティーオークションパーティー（CAP）、2月にチャリティーイベントを実施する。
2) スタディツアー	年1~2回	カンボジア	当会活動の現場を紹介するスタディツアーを年1~2回実施し、啓発活動を行う。 その他に、設立15周年を機に、過去の学校建設支援者を対象とした現地訪問ツアーの実施を検討する。
3) コーディネート	年数回	カンボジア	当会事業の見学や交流会を希望する会員をはじめとする企業、団体、個人を受入れ、当会の活動を積極的に広める。
4) 機関紙発行	年6回	事務局	支援者への報告として年4回会報を発行する。今年度は、「会と読者の繋がり」、「ひとを感じさせる紙面」、「NGO活動への参加促進」、「読みやすい紙面」をテーマとする。 CCH（幸せの子どもの家）サポーターに対して、年2回の便りを発行する。
5) 記録集発行	年1回（10月）	事務局	2007年度の全活動及び特集記事をまとめた冊子を編集、発行する。この中に、設立15周年の特集記事を掲載する。
6) ホームページ	通時	事務局	新規リニューアルされたホームページを定期的に管理更新し、現場の生の情報、正確で密度の高い情報を提供する。作業はボランティアが運営できる体制を整える。 サイト運営の問題や課題について随時検討し、次回リニューアルに向けた準備を行う。
7) 啓発諸活動	年間通時	事務局及び国内各所	海外ボランティア派遣希望者を対象にした説明会を全国数ヶ所で数回開催する。 海外ボランティア派遣体験者による活動報告会を年5回程度開催する。 活動の内容を紹介するオリエンテーションを実施する（月1~2回） 各地でのバザー、イベントに参加し当会の活動を積極的に宣伝する。 日本各地の教育機関からの依頼に応じて、当会活動や海外事情を紹介する講義を積極的に行う。 設立15周年及び美術プロジェクト10周年を機に、8月に東京八王子市でカンボジアの子どもたちの絵画展を企画する。同時に、日本の子どもたちに絵画募集を宣伝する。
8) 募金箱運動	通年	国内	500mlの空パックを再利用したリサイクル募金箱運動を広く協力者に呼びかける。 各種サイズの募金箱を整備し、長期的に置いてもらえる場所を確保する。
9) 地域ネットワーク	年間通時	事務局及び国内各所	当会の会員、協力者、活動隊派遣者の中から各地域の啓蒙事業の核となる「地域サポーター」を集め、支援者拡大の為にネットワークを確立する。今年度は、事務局とサポーターの連絡を密にして、「地域に根ざした活動」を展開する

5・運営基盤拡充

1) 財源確保	年間通時	事務局	<p>当会が「認定 NPO 法人」であることの広報を積極的に行い、新たな支援者を集める。</p> <p>学校建設、教育支援事業の支援者を集め、活動内容に対応した報告を徹底する。</p> <p>他団体が行うインターネットを活用した寄付サイトの設立に協力する。</p> <p>新規会員を増やし、会員継続率をあげる。同時に、会費の自動引き落としシステムを構築する。</p> <p>各種助成金の申請を積極的に行う。</p> <p>特定非営利活動展開の為に各種募金活動を行う。</p> <p>書き損じハガキ、未使用切手、未使用テレホンカード集めによる通信費削減をはかり、学校建設事業に活用する。</p> <p>絵画プロジェクトについて、「1校で1年間絵画教育を行うために必要な額」を提示し、学校などの組織を呼びかける。</p>
2) 協力団体提携	年間通時	事務局	<p>プロジェクト及び組織運営の幅を広げるために、以下の通り他団体との協力関係を深める。</p> <p>J E N</p> <p>アフリカへ毛布をおくる運動（毛布収集、現地派遣・モニタリングに協力する。）</p> <p>NPO 事業サポートセンター</p> <p>地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）</p> <p>カンボジア市民フォーラム</p> <p>教育協力 NGO ネットワーク（JNNE）</p> <p>国際協力 NGO センター（JANIC）</p> <p>北海道 NGO ネットワーク</p> <p>東京都港区・港区国際交流協会</p> <p>江東区（海外向け支援物資）</p> <p>みなとボランティアセンター</p> <p>独立行政法人国際協力機構（JICA）</p> <p>災害時の緊急募金を実施。支援先は随時検討する。</p>
3) 各種会議	年間通時	事務局他	<p>会員総会（年1回）</p> <p>理事会（定例に月1回）</p> <p>運営協議会（定例に週1回）</p> <p>事務局スタッフミーティング（定例に金曜日）</p> <p>マンスリーミーティング（月1回）</p> <p>その他必要に応じて会議を実施する。</p>
4) 事業評価	年間通時	事務局	<p>当会の設立 15 周年にあわせ、2008 年度の事業評価について準備を進め、評価チームをカンボジアに派遣する。</p>
5) 運営管理	年間随時	事務局	<p>事務局運営管理能力を強化する。</p> <p>当会の歴史、実績に関する資料や写真の整理・保存を計画的に進める。</p> <p>当会の活動推進に必要なボランティア（特に定期ボランティア）を充実させる。</p>

太字の内容は 15 周年記念事業を示します。

6 . 新規事業・具体的改善項目

(1) 学校建設事業

学校建設支援者確保に向けた、新規広報の展開 **継続**

2009 年度以降の支援者について、最低 15 棟分の予算確保を目指し、新たな広報を展開する。

具体的には、学校建設支援者向けのリーフレット作成、様々な施設等での宣伝活動、支援者（個人、企業）による体験報告会の実施、学校建設ごとのプレスリリース発表（支援者の承諾必要） 遺贈を受けやすくする働きかけなど。

過去の支援者への対応の徹底 **新規**

過去の学校建設の支援者への対応に関するガイドラインを作成し、両事務所が協力して、支援者と継続的にコミュニケーションをはかれるようにする。

同時に、この作業を通じて当会の建設の成果が蓄積されるように工夫する。

(2) 教育支援事業

絵画

第 7 回絵画展 **継続**

フォローアップ実施（各地域 2 日間）...絵画展説明会、画材配布と兼ねて、を実施する。

絵画展の実施方法の改善

- ・日本の生徒より参加費を寄付してもらい、絵画展実施費用・画集作成費にあてる。
 - ・日本とカンボジアの生徒の国際交流に貢献する（メッセージの交換等）
 - ・審査委員会を地方毎に実施
 - ・表彰方法の見直し等
- 表彰式をプノンペン音楽コンテスト決勝と同時開催し、受賞者対象スタディツアーを行う。
- ・絵画展画集作成（1000 部を予定）

絵画授業実施校への支援 **新規**

画材配布・・・「1 校で 1 年間絵画教育を行うために必要な額」を提示し、学校サポーターを探す

契約スタッフの雇用 **新規**

ワークショップ指導のみならず、準備や調査等を含めた美術プロジェクト全般にコミットできるスタッフを雇用する。

音楽

契約スタッフの雇用 **新規**

音楽初級ワークショップ程度の内容が指導可能で、ワークショップ指導の

みならず、準備や調査等を含めた音楽プロジェクト全般にコミットできるスタッフを雇用したい。

合唱普及活動 **新規**

楽器が無くても音楽が広まる方法として、プノンペン市、コンポンスプー県で合唱に興味のある音楽教員を対象とした、日本人指導者による合唱ワークショップを行い、合唱団を結成する。ワークショップ後は、定期的に練習を行い、発表会を企画したり、3月に予定している合同演奏会で披露したりする予定。まず教員が合唱の楽しさを経験し、各学校で生徒に指導してもらうことを目的とする。

マーチングバンド

ボランティア指導者派遣 **継続**

長期間にわたり、バンド指導者・生徒への指導ができる人材を派遣する。
(7月中旬から8月にかけて3~4週間、3月1週間~10日間)

パレード・合同演奏会実施 **新規**

パレード

年3回程度、プノンペン市内でマーチングパレードを企画する。

第1回：6月1日(国際子どもデー)頃

第2回：12月10日(国際人権デー)頃

第3回：2009年3月8日(国際女性デー)頃

合同演奏会

年2回(8月7日頃、3月5日頃)合同演奏会を実施し、全マーチングバンドの演奏、アンコールユースオーケストラとの合同演奏、音楽教員合唱団の披露などを行う。

衛生

ワークショップ実施 **新規**

音楽・美術WS期間中、1時間程度、JHPローカルスタッフによるワークショップを行う。衛生教本や生徒指導に効果的な紙芝居を作成・配布する。

支援物資 **新規**

- ・支援物資の募集から報告までの流れを整理する。
- ・支援物資の整理、清掃、梱包、輸送の作業に関わる人員増強
- ・会報等を通じて、支援物資の配布状況を報告する。
- ・個別に報告が必要な支援者へのフォローを徹底する。

(3) ボランティア派遣事業

災害支援の基金づくり **新規**

国内外の災害時に即時に対応できるように、初動資金を確保するための制

度をつくり実行する。

カンボジア隊 **継続**

カンボジア隊により多くの応募者を集め、新規会員の獲得につなげる。同時に、学生が関われる国内活動を多く設け、日ごろから積極的に参加した者を派遣できる流れをつくる。また、派遣メンバーの中から地域サポーターを育成し、帰国後も活動を継続できるようにサポートする。

小山内美江子 国際ボランティア・カレッジの充実 **継続**

第2期の反省点を踏まえ改善を加え第3期を開講する。特に、第2期までの実績をアピールし、受講生、聴講生を増やすための広報活動を工夫する。例えば、青年海外協力隊の受講生や希望者に情報を提供する手段を考える。また、安定した運営のために講義会場を港区内に確保する。同時に、助成金や寄付金など財政面でも独立できるように各所に働きかける。

(4) 広報啓発

ボランティア主体によるチャリティー企画の実施 **継続**

学生ボランティア（主に活動隊経験者）主体で、活動資金を生み出す為のイベントや報告会等の企画を受け付け、実施に向けてサポートする。

リーフレット作成と設置個所の確保 **継続**

昨年リニューアルした新リーフレットを修正（3万枚印刷）し、定期的に設置してもらう場所を最低100ヶ所確保することにより、新規会員数の拡大に努める。また、代表講演会をはじめ、各種イベント等でも積極的にリーフレット配布に努める。

会報のリニューアル **新規**

「報告」の要素以外に、会と読者の繋がり「啓発」を意識する、「ひと」を感じさせる内容、読みやすい紙面を目指す。

スタディーツアーの改善 **継続**

当会はこれまでツアーを10回開催している。今までは、費用の設定、添乗の有無、内容と様々試しながら継続してきたが、宣伝広報力不足から参加者が低減し、開催が見送られるケースもあった。

昨年度は、魅力あふれるツアーを目標とし、ミュージックシェアリングとのタイアップ、複数ドナーの学校贈呈式出席などを試み、参加者を増やすことができた。今年度も他団体に無い魅力を全面に出したツアーを組んでいく。

- ・ ボランティア活動（メンテナンス作業、支援物資配布、交流会等）を全面に出したツアー。
- ・ 旅行社と提携して、高年齢層をターゲットにした、多少贅沢でゆとりのあるスケジュールのツアー。
- ・ 会員の中から数名にモニターになってもらい、国内及びカンボジアの事

業を視察し評価してもらうためのツアー。(通常のツアー参加者の中から数名に依頼する形もありうる)

- ・ 過去の学校建設ドナーを対象にしたツアー(15周年記念事業の企画)尚、出発前に勉強会(顔合わせ)の機会を持つ、又はプロフィール表を事前に用意するなど、参加者同士の交流を更に深められるように配慮したい。

地域に根ざした活動を展開 継続

北海道、小田原、熱海、愛知、大阪などでは、会員やサポーターが、主体的に活動を展開し、当会の発展に貢献している。これらに対し、当会事業の最新情報や広報資料の提供を徹底するなど事務局が積極的にサポートし、経験を共有しながら支援者の輪を広げていく。特に各地での報告会の開催、小田原メンバーを核としたアート展を継続する。

また、年賀寄付金の助成が受けられれば、年10回の報告会を実施する。

ホームページ運営 継続

新ホームページの運営をボランティア主体で行えるように体制を整ええる。

(5) 運営基盤拡充

東京事務所における支援者(顧客)管理システム導入と維持管理 継続

会員管理、会計管理、支援者情報を整理し、増加する支援者(顧客)との関わりを短時間でより効率良く把握できるシステムを構築する。

事業評価 継続

15周年事業として掲げた事業評価の勉強会を継続し、派遣と報告書の作成を完了させる。また、評価内容に関する発表機会(報告会)をつくる。

事務局のコンピュータネットワークの改善 継続

東京事務所において、全員が一度にコンピュータのサーバーに接続できないケースがあるため、ネットワーク環境の改善を目指す。

各種事業と支援者のマッチングを徹底する 新規

学校建設同様に、その他事業においても、予算の根拠となる支援者を明確にすると同時に報告を徹底する。

運営管理能力の向上 新規

各種事業の進捗状況や担当者が誰にでも分かるような基本的なシステムを構築する。

情報の整理 新規

当会の歴史、実績に関する資料や写真の整理・保存を計画的に進める。

ボランティアの増員 新規

人不足で進まない事業について、ボランティアに担ってもらうような体制をつくる。同時に広くボランティアを呼びかけ増員を図る。(特に定期ボランティアの増員を目指す。)

7. 年間スケジュール (2008.4.4 現在)

2008年4月

月日(曜日)	節	東京事務所	プノンペン事務所
4月1日(火)*	1		
2日(水)			
3日(木)			
4日(金)#		代表講演(東京学芸大学)	
5日(土)			
6日(日)			
7日(月)	2		
8日(火)*		VC 教務会議	
9日(水)			
10日(木)N			
11日(金)#			
12日(土)			PP 事務所クローズ(~20日)
13日(日)		ツルセミバザー(2ヶ所)	
14日(月)	3	CCH 便り 10号発送予定	クメール正月
15日(火)*			クメール正月
16日(水)			クメール正月
17日(木)			
18日(金)#			
19日(土)		アースデー	
20日(日)		アースデー	
21日(月)			古川さん帰国、TTC 音楽 WS
22日(火)*	4	第69回理事会	TTC 音楽 WS
23日(水)			TTC 音楽 WS
24日(木)N			TTC 音楽 WS
25日(金)#		JHP ニュース第42号発送	TTC 音楽 WS
26日(土)		メーデー中央大会	
27日(日)			
28日(月)	5		TTC 音楽 WS
29日(火)		昭和の日	TTC 音楽 WS
30日(水)			TTC 音楽 WS

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。
目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年5月

月日(曜日)	節	東京事務所	フノンペン事務所
5月1日(木)	5		メーデー、TTC音楽WS
2日(金)#			TTC音楽WS
3日(土)		憲法記念日	
4日(日)		みどりの日	
5日(月)	6	こどもの日	
6日(火)		振替休日	
7日(水)			
8日(木)N			新屋一時帰国(～6/4)
9日(金)#			
10日(土)		活動報告会・説明会(麻布区民センター)	
11日(日)			
12日(月)	7		
13日(火)*		中旬:HPリニューアル	国王誕生日
14日(水)			国王誕生日
15日(木)			国王誕生日
16日(金)#		8月隊募集締め切り	
17日(土)			
18日(日)		杉並ピースフェスティバル2008	
19日(月)	8		Visa Bochea
20日(火)*			
21日(水)			
22日(木)N			
23日(金)#			鍬入れ式
24日(土)		会員総会/8月隊選考会	
25日(日)			
26日(月)	9		
27日(火)*			
28日(水)			
29日(木)			
30日(金)#			
31日(土)			

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金)は祝日、Nはノー残業日を示します。
目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年6月

月日(曜日)	節	東京事務所	プノンペン事務所
6月1日(日)	9		MB バレード
2日(月)	10		音楽指導員 WS
3日(火)*		音楽指導員 WS	
4日(水)		音楽指導員 WS	
5日(木)		音楽指導員 WS、新屋業務復帰	
6日(金)#		音楽指導員 WS	
7日(土)		8月隊勉強会 国際ホランティア・カレッジ (VC) 説明会	
8日(日)			
9日(月)	11		
10日(火)*			
11日(水)			
12日(木)N			
13日(金)#			
14日(土)		小山内代表講演会(長野)	
15日(日)			
16日(月)	12		
17日(火)*			
18日(水)			モニク王妃誕生日、馬所長帰国
19日(木)			
20日(金)#			
21日(土)		代表講演(港区男女平等参画センター)	
22日(日)		天満敦子チャリティーコンサート	
23日(月)	13	日本の子どもの絵画募集開始	
24日(火)*			
25日(水)			
26日(木)N			
27日(金)#			
28日(土)		VC 説明会、選考会	
29日(日)			
30日(月)	14		TTC 絵画 WS

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。
目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年7月

月日(曜日)	節	東京事務所	フノンペン事務所
7月1日(火)*	14		TTC 絵画 WS
2日(水)			
3日(木)			
4日(金)#			
5日(土)			
6日(日)			
7日(月)	15		TTC 絵画 WS
8日(火)*			TTC 絵画 WS
9日(水)			
10日(木)N			
11日(金)#			
12日(土)		8月隊勉強会	
13日(日)			
14日(月)	16		TTC 絵画 WS
15日(火)*			馬所長復帰、TTC 絵画 WS
16日(水)			
17日(木)			
18日(金)#		JAM 静岡訪力(～22日)	
19日(土)		代表講演(淑徳与野高校)	
20日(日)			
21日(月)	17	海の日	TTC 絵画 WS、MB training
22日(火)*			TTC 絵画 WS、MB training
23日(水)			MB training
24日(木)N			MB training
25日(金)#			MB training
26日(土)		VC 説明会、選考会	
27日(日)			
28日(月)	18		TTC 絵画 WS、MB training
29日(火)*			TTC 絵画 WS、MB training
30日(水)			MB training
31日(木)		JHP ニュース 43 号発送予定 絵画展(八王子)搬入	MB training

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。

目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年8月

月日(曜日)	節	東京事務所	プノンペン事務所
8月1日(金) #	19	絵画展スタート(八王子)	MB training
2日(土)		8月隊勉強会	
3日(日)		8月隊出発	
4日(月)	20		TTC 絵画 WS、MB training
5日(火) *			TTC 絵画 WS、MB training
6日(水)			MB training
7日(木) N			合同演奏会
8日(金) #			MB training
9日(土)			
10日(日)			
11日(月)	21		音上級 WS (KN)、絵初級 WS
12日(火) *			音上級 WS (KN)、絵初級 WS
13日(水)			音上級 WS (KN)、絵初級 WS
14日(木)			音上級 WS (KN)、絵初級 WS
15日(金) #		大田区平和祈念コンサート	音上級 WS (KN)、絵初級 WS
16日(土)			
17日(日)		ライジング サロックフェスティバル(北海道)	
18日(月)	22	ライジング サロックフェスティバル(北海道)	音上級 WS (KN)、絵中級 WS
19日(火) *		ライジング サロックフェスティバル(北海道)	音上級 WS (KN)、絵中級 WS
20日(水)			音上級 WS (KN)、絵中級 WS
21日(木) N			音上級 WS (KN)、絵中級 WS
22日(金) #			音上級 WS (KN)、絵中級 WS
23日(土)		200棟記念ツアー出発	
24日(日)			
25日(月)	23		音上級 WS (TK)
26日(火) *			音上級 WS (TK)
27日(水)		200棟贈呈式	音上級 WS (TK)
28日(木)		200棟記念ツアー帰国	音上級 WS (TK)
29日(金) #		8月隊帰国	音上級 WS (TK)
30日(土)			
31日(日)		絵画展終了	

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金)、は祝日、Nはノー残業日を示します。

目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年9月

月日(曜日)	節	東京事務所	ブノンペン事務所
9月1日(月)	24		音上級WS(TK) 絵FP
2日(火)			音上級WS(TK) 絵FP
3日(水)*			音上級WS(TK)
4日(木)		チャリティーイベント(ガールズホ-ル)	音上級WS(TK)
5日(金)#			音上級WS(TK)
6日(土)		VC選考会	中山さん一時帰国(~9/26)
7日(日)			
8日(月)	25		音楽指導員WS、絵FP
9日(火)			音楽指導員WS、絵FP
10日(水)*			音楽指導員WS
11日(木)N			音楽指導員WS
12日(金)#			音楽指導員WS
13日(土)		国際ボランティア・カレッジ(VC)開講	
14日(日)			
15日(月)	26	敬老の日 JHP設立記念日	音初級WS(PV) 絵FP
16日(火)			音初級WS(PV) 絵FP
17日(水)*			音初級WS(PV)
18日(木)			音初級WS(PV)
19日(金)#		日本の子どもの絵画募集締切り	音初級WS(PV)
20日(土)			
21日(日)			
22日(月)	27		音初級WS(PV) 絵FP
23日(火)		秋分の日	音初級WS(PV) 絵FP
24日(水)*			憲法記念日、音初級WS(PV)
25日(木)N			音初級WS(PV)
26日(金)#			中山さん復帰、音初級WS(PV)
27日(土)			
28日(日)			プチュンバン
29日(月)	28		プチュンバン
30日(火)		CCH便り11号発送予定	プチュンバン

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。
目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年10月

月日(曜日)	節	東京事務所	ブノンペン事務所
10月1日(水)*	28		
2日(木)			音既卒 FP
3日(金)#			音既卒 FP
4日(土)		VC 合宿、グローバルフェスタ	
5日(日)		VC 合宿、グローバルフェスタ	
6日(月)	29		絵 FP
7日(火)			絵 FP
8日(水)*			
9日(木)N			音既卒 FP
10日(金)#			音既卒 FP
11日(土)			
12日(日)			
13日(月)			
13日(月)	30	体育の日	絵 FP
14日(火)			絵 FP
15日(水)*			
16日(木)			音既卒 FP
17日(金)#			音既卒 FP
18日(土)		NPO まつり 2008	
19日(日)	NPO まつり 2008		
20日(月)	31		
21日(火)			音既卒 FP
22日(水)*			音既卒 FP
23日(木)N			音上級 FP
24日(金)#			音上級 FP
25日(土)		横浜国際協力フェスタ 2008	
26日(日)		横浜国際協力フェスタ 2008	
27日(月)	32		音上級 FP
28日(火)			音上級 FP
29日(水)*			戴冠記念日
30日(木)			
31日(金)#			シアヌーク元国王誕生日

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金)は祝日、Nはノー残業日を示します。

目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年11月

月日(曜日)	節	東京事務所	プノンペン事務所
11月1日(土)	32		
2日(日)			
3日(月)	33	文化の日	
4日(火)			
5日(水)*			
6日(木)		音初級FP	
7日(金)#		音初級FP	
8日(土)			
9日(日)			
10日(月)	34		水祭り
11日(火)			水祭り
12日(水)*		国際協力アート展搬入	水祭り
13日(木)N		国際協力アート展(~17日)	水祭り
14日(金)#			
15日(土)			
16日(日)	国際協力アート展スペシャルイベント		
17日(月)	35		
18日(火)			
19日(水)*			
20日(木)		絵CM	
21日(金)#			
22日(土)		JAM 静岡(~11/30)	
23日(日)		勤労感謝の日	
24日(月)	36	振替休日	
25日(火)			
26日(水)*			
27日(木)N		絵CM	
28日(金)#			
29日(土)			
30日(日)			

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。

目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2008年12月

月日(曜日)	節	東京事務所	ブノンペン事務所
12月1日(月)	37		絵 TTCWS
2日(火)		チャリティーアクションパーティー(CAP)	絵 TTCWS
3日(水)*			
4日(木)			音上級FP
5日(金)#			音上級FP
6日(土)			
7日(日)			
8日(月)	38		絵 TTCWS
9日(火)			絵 TTCWS
10日(水)*			MBパレード
11日(木)N			音上級FP
12日(金)#			音上級FP
13日(土)			
14日(日)			
15日(月)	39		絵 TTCWS
16日(火)			絵 TTCWS
17日(水)*			
18日(木)			音初級FP、絵 CM
19日(金)#			音初級FP
20日(土)		ワールドフェスタ(大阪)	
21日(日)		ワールドフェスタ(大阪)	
22日(月)	40		絵 TTCWS
23日(火)		天皇誕生日	絵 TTCWS
24日(水)*			
25日(木)N			絵 CM
26日(金)#		仕事納め	
27日(土)			
28日(日)			
29日(月)	41		絵 TTCWS
30日(火)			絵 TTCWS
31日(水)*			

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。

目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2009年1月

月日(曜日)	節	東京事務所	フノンペン事務所
1月1日(木)	41		元旦
2日(金)			
3日(土)			
4日(日)			
5日(月) #	42	仕事始め	絵 TTCWS
6日(火)			絵 TTCWS
7日(水) *			戦勝記念日
8日(木) N		小山内代表誕生日	
9日(金) #			
10日(土)			
11日(日)			
12日(月)	43	成人の日	音 TTCWS
13日(火)			音 TTCWS
14日(水) *			音 TTCWS
15日(木)			音 TTCWS、絵 CM
16日(金) #			音 TTCWS
17日(土)			
18日(日)			
19日(月)	44		音 TTCWS
20日(火)			音 TTCWS
21日(水) *			音 TTCWS
22日(木) N			音 TTCWS、絵 CM
23日(金) #			音 TTCWS
24日(土)			
25日(日)			
26日(月)	45		
27日(火)			
28日(水) *			音楽指導員 WS
29日(木)			音楽指導員 WS
30日(金) #			音楽指導員 WS
31日(土)		VC 合宿	

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。

目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2009年2月

月日(曜日)	節	東京事務所	プノンペン事務所
2月1日(日)	45	VC合宿	
2日(月)	46	初旬：支援物資輸送作業	コンテスト KC
3日(火)			コンテスト KC
4日(水)*			コンテスト KC
5日(木)			
6日(金)#			社員旅行?
7日(土)			社員旅行?
8日(日)		赤坂 BLITZ 仮押さえ	社員旅行?
9日(月)		47	
10日(火)			コンテスト KS
11日(水)	建国記念の日		コンテスト KS
12日(木)N			コンテスト KS
13日(金)#			
14日(土)			
15日(日)	赤坂 BLITZ 仮押さえ		
16日(月)	48		
17日(火)			コンテスト KN
18日(水)*			コンテスト KN
19日(木)			絵 CM
20日(金)#			
21日(土)			
22日(日)			
23日(月)		49	
24日(火)			コンテスト TK
25日(水)*			コンテスト TK
26日(木)N			絵 CM
27日(金)#			
28日(土)			

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金)は祝日、Nはノー残業日を示します。
目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。

2009年3月

月日(曜日)	節	東京事務所	プノンペン事務所
3月1日(日)	50		
2日(月)	51		コンテストSV、MB training
3日(火)			コンテストSV、MB training
4日(水)*			コンテストSV、MB training
5日(木)			コンテストSV、MB training
6日(金)#			MB 合同演奏会
7日(土)			
8日(日)			MB パレード
9日(月)		52	
10日(火)			MB training
11日(水)*			
12日(木)N			音初級FP
13日(金)#			音初級FP
14日(土)			
15日(日)			
16日(月)	53		
17日(火)			コンテスト決勝
18日(水)*			コンテスト決勝
19日(木)#			絵CM
20日(金)			春分の日
21日(土)			
22日(日)			
23日(月)		54	
24日(火)			
25日(水)*			
26日(木)N			絵CM
27日(金)#			
28日(土)			VC 修了式
29日(日)			
30日(月)	55		
31日(火)			

注)曜日の右側の*印は運営協議会の日、#は事務局ミーティング(金) は祝日、Nはノー残業日を示します。
目標シートは月初の事務局ミーティングにて検討し、運営協議会にて報告します。